

(信徒説教者課程)

聖書解釈実践

1. 目的

- ・受講者は、礼拝説教の奉仕を行うことができるようになるための聖書解釈を実践的に学ぶ。

2. 進め方

- ・聖書解釈基礎 (前期) テキスト「聖書を正しく読むために」を参考にしつつ、配布するレジュメに基づいてレポートを作成する。

3. テキスト／参考文献

(テキスト)

- ・特になし (必要に応じてレジュメを配布する場合がある)

(参考文献)

- ・聖書を正しく読むために [総論] 一聖書解釈学入門
ゴードン・D・フィー、ダグラス・スチュワート著、和光信一 訳、関野祐二監修
- ・文学ジャンル別聖書の読み方ガイド
関野祐二著 (いのちのことば 2008年3月号～2010年8月号掲載)
2019年8月29日閲覧 (<http://wlpn.or.jp/inokoto/2016/04/26/文学ジャンル別聖書の読み方ガイド-新連載-第1/>)

4. 課題等

(課題)

- ・課題は、一ヶ月に一つである。
- ・A4三枚以内 (これは最大枚数であり、二枚になっても問題ない)。
- ・課題の内容と提出期限については、後日お知らせいたします。
- ・参考文献を用いた場合は必ず明記すること。
- ・課題で重要なことは、講師の意見と類似しているかどうかではなく、内容が論理的に構成されているかである。
- ・提出期限を過ぎること、指定枚数を越えることは減点対象となる。

(スクーリング)

- ・後期の期間中に4時限行う (DVD録画を行い、欠席者に対応する)。
- ・実施日は 月 日 (土)、 月 (土) (各2時限) の予定だが確定ではない (後日連絡)。

5. 提出先

- ・担当者の E-mail アドレス phi411.mitsuru@gmail.com

6. 評価

(課題)

16 % / 回 × 5 回 = 80%

(スクーリング)

10 % / 回 × 2 回 = 20% (出席あるいは視聴)

	基準	(対応採点)
A, A-	学習の期待値よりも優れている	90-100
B+, B, B-	学習の期待値に達している	80-89
C+, C, C-	学習の期待値に達していない	70-79
D	学習の期待値から非常に劣る	60-69
F	単位を与えることができない	0-59